

昨年の支倉サミット・支倉宣言を受けて、支倉リーグの海外大学との連携のもと、今年度構築を目指す東北大学総合知デジタルアーカイブを活用した国際展開が始まりました。今回のワークショップでは、これまで日本学国際共同大学院がローマ大学ラ・サピエンツァと行ってきた学生運動資料を素材とする Long 1960s の研究・教育プロジェクトと、この東北大学総合知デジタルアーカイブとをどのように連携させるのか、議論したいと思います。

開催形式 | 対面のみ

2023年

6月1日 木 13:00
|
17:30

使用言語
日本語

会場 東北大学文学研究科棟 2F 大会議室

冷戦期日本の学生運動と デジタルアーカイブ

主催 ● 東北大学日本学国際共同大学院 ― 東北大学附属図書館 東北大学史料館

第1部 デジタルアーカイブと学生運動資料

Part ① Digital Archives and Student Movement Materials

- 1) 東北大学デジタルアーカイブの構築と内容 半澤智絵 (東北大学附属図書館情報サービス課長)
Construction and content of digital archives at Tohoku University Tomoe Hanzawa (Tohoku University Library)
- 2) 東北大学デジタルアーカイブと学生運動資料 加藤諭 (東北大学史料館准教授)
Student movement documents and digital archives at Tohoku University Prof. Satoshi Kato (Tohoku University Archives)
- 3) 東京大学デジタルアーカイブと学生運動資料 宮本隆史 (大阪大学講師)
Student movement documents and digital archives at the University of Tokyo Prof. Takashi Miyamoto (Osaka University)

学内の教職員・学生・大学院生は当日、申し込み不要で参加できます。
学外の方の参加には事前登録が必要です。
5月26日(金)までに、以下のGoogle formから登録してください。 <https://forms.gle/k1pGKZE6aZuxW9NYA>



登録フォーム

第2部 デジタルアーカイブを利用した教育と研究

Part ② Education and Research Using Digital Archives

- 4) 日本の冷戦と若者の運動に関する研究の情報源・イタリア人学生の教育ツールとしてのデジタルアーカイブ
マルコ・デル・ベーネ (ローマ大学ラ・サピエンツァ准教授)
Digital archives as a source for research on Japan's Cold War and youth movements and as a teaching tool for Italian students
Prof. Marco del Bene (Sapienza University of Rome)
- 5) 文学研究におけるデジタルアーカイブスの重要性―久保栄の『日本の気象』を中心に
ステファノ・ロマニョーリ (ローマ大学ラ・サピエンツァ助教授)
The importance of digital archives in literary research: the case of "The climate of Japan" by Kubo Sakae
Prof. Stefano Romagnoli (Sapienza University of Rome)